



CCT2006
Co-medical

Dates

2006年**9**月**21**日(木) - **23**日(土)

Venue

神戸国際展示場

CCT Website

<http://www.cct.gr.jp/2006/comedical/>

CCT2006 Co-medical

Dates

2006年9月21日(木) - 23日(土)

Venue

神戸国際展示場

Course Organizing Committee

相田 伸二
京都大学医学部附属病院

荒居 広明
心臓血管研究所附属病院

稲田 毅
豊橋ハートセンター

大石 景子
国立病院長崎医療センター

小早川 香樹
滋賀県立成人病センター

小味 昌憲
熊本大学医学部附属病院

杉浦 武治
豊橋ハートセンター

添田 信之
星総合病院

高橋 裕一
新東京病院

辻井 正人
三重ハートセンター

中山 美恵子
桜橋渡辺病院

鯨井 秀之
健保連大阪中央病院

平田 和也
北海道社会保険病院

藤田 光広
川崎社会保険病院

三上 剛人
学校法人吉田学園

守屋 元
大和成和病院

柳沼 昇
心臓血管センター
北海道大野病院

Time Schedule

	9:00	10:00	11:00
21 木	2号館	9:00-10:30 心臓カテーテル 検査における工夫	10:30-11:30 医療
	3号館		
22 金	2号館	9:00-10:30 患者様への対応と指導	10:30-11:30 心臓カ におけ
	2号館	9:00-9:50 頸動脈 超音波とは	9:50-10:45 超音波による 人工弁の診かた
23 土	2号館		10:45-11:30 心腎
	3号館	9:45-13:00 もっとわかりやすい心臓	

Course Objectives

虚血性心疾患の内科治療は様々なデバイスの開発、DESの出現でほぼ完成された感がある。また外科領域でも様々なデバイスが開発されOff-pump CABGが当たり前になっている。それぞれの分野に携わるスタッフの役割も変化を遂げている。またそのまわりで新しい診断機器が開発され、特にマルチスライスCTの登場で冠動脈描写が容易になり、今後診断カテーテルが減っていく現状が想像される。その中で我々は医療レベルを保ちながら各々の仕事に携わらなければいけない。少ない機会でも個人のレベルを維持することは大変難しく、個々の機会を大切に

しなければいけない。そのためには基本を忘れることなく常に基本に戻るスタイルを持たなければならない。

今回の新しい試みとして韓国からのコメディカルを招聘し、コメディカルライブに参加して頂き、韓国と日本のコメディカルの役割の違い等の講演をして頂く予定です。

CCT2006ではもう一度基本に戻り自分の知識の再認識する機会、また新しい知識の吸収、他施設との交流して頂き情報交換の場にして頂ければと考える。

ライブ中継施設 豊橋ハートセンター

11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
10:40-12:00 被曝	12:15-13:15 ランチョンセミナー 動画像ネットワークシステムの現状 ～院内情報システムの連携 ●共催 株式会社グッドマンヘルスケア	13:30-15:00 CTの最新動向	13:30-17:00 PCIライブ		15:15-16:45 Coronary CT	
12:00 カテーテル検査・治療 する看護師の役割	12:15-13:25 ランチョンセミナー DES時代：コメディカルの果たす役割 ●共催 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	13:30-14:50 基礎の確認1	14:55-15:50 基礎の確認2	15:55-16:50 IABP		
10:45-12:00 臓超音波検査の基礎 動脈の基礎から治療まで						
臓血管外科ライブ		13:10-14:20 手術も心臓も解体します	14:30-16:00 目から鱗？ ためになる麻酔医の術後管理			

スケジュール及び内容は都合により変更される場合があります。

21日 木

2号館

9:00-10:30

「心臓カテーテル検査における工夫」

心臓カテーテル検査、治療は医師が主導を握っていますが、放射線機器にかかわることは放射線技師が管理、モニターしています。このような状況の中で、少しでも医師に良い環境を、また患者様への負担を少なくするためのちょっとした工夫を提示して頂きます。

10:40-12:00

「医療被曝」

心臓カテーテルの治療は、器具の発達と共に手技の技術もレベルアップしています。それに伴い複雑な病変や慢性閉塞病変へのチャレンジも果敢に行なわれています。治療時間の増加に伴いどうしても被曝の問題が無視できなくなります。ここでは、この問題について基本から具体的なことまで話して頂きます。

12:15-13:15 ランチョンセミナー

「動画像ネットワークシステムの現状～院内情報システムの連携」

共催・株式会社グッドマンヘルスケア

循環器科、放射線科を中心とした1部門システムとしては円熟期を迎えたと言っても過言ではない動画像ネットワークシステム。現在は、部門システムとしての高い機能性を犠牲にせずに、他の部門システムや、HIS、RIS、EPR等の上位システムと如何にスムーズに連携することが出来るかが、より重要な課題となっています。

今回、動画像ネットワークシステムシェアNo.1であるGoodnetが、どのように他システムとのシームレスな連携を実現しているかを、実際の導入施設とIHE-Jの双方向の観点からご講演頂く予定です。

13:30-15:00

「CTの最新動向」

CT装置は検出器の多列化の増加や複数化など、進化し続けています。このセッションでは、メーカー4社にCTの最新動向、トピックスを講演して頂きます。各社の特徴を比較するチャンスです。日頃思っている疑問点を解消して下さい。

15:15-16:45

「Coronary CT」

日々、Coronary CT検査は進化しています。今回は、技術的な内容に注目し、最も基本となる心電同期再構成法について詳しく解説して頂き、さらに、最新の被曝低減技術や新たな心電同期撮影法の可能性についてご講演頂きます。技術職としての立場で、画像構築技術への理解を深めたいと思います。

3号館

13:30-17:00

>>LIVE<<

「PCIライブ」

今年も例年通りコメディカルライブを開催します。今回は豊橋ハートセンターからコメディカル専用回線を頂き、入室から退室までを細かく見て頂きたいと考えております。またコメンテーターとして韓国のコメディカルを招待しライブのコメントを頂くとともに、ライブの合間に韓国の現状等の講演を頂きたいと考えております。自由に質疑可能な会ですので奮ってご参加下さいませようよろしくお願いいたします。

22日 金

2号館

9:00-10:30

「患者様への対応と指導」

医療の現場では急性心筋梗塞で蘇生しながら救急搬送されてきた患者様や、長期に療養されている入院中の患者様、これから手術をしようとしている患者様、退院に向けての患者様がいらっしゃいます。私達は、急変対応時には、患者様の状況を把握して対応すると同時に家族への指導も重要となってきます。

手術を迎える患者様へは、精神的な援助と体調の管理等の指導が必要となります。

心臓カテーテル中の患者様へは、絶えず循環動態の観察と訴えに気をつけながら治療の介助が必要となってきます。

退院に向けての患者様の場合は、従来の生活にできるだけ早く戻っていけるように、そして寝たきりにならないように食事や運動も含めた援助と指導が必要になります。

私達医療者は、このような患者様それぞれの状況に合わせて対応し、指導していくことが求められています。日ごろ行っておられます患者様へのそれぞれの病院での取り組みや対応について、大いに討論して頂き、皆様と一緒に考えたいと思います。

10:30-12:00

「心臓カテーテル検査・治療における看護師の役割」

日々進化する近年の医療現場において、私たち看護師はどのような役割を担い看護を実践しているのでしょうか。

一般に心臓カテーテル検査及び治療を受ける患者様に対し行う看護としても、環境整備、物品準備及び管理、看護計画・術中記録、患者様への援助・処置、医師の介助、他病棟及び外来との継続看護、患者指導、スタッフ間の連絡調整などさまざまなものが挙げられます。

日帰りカテやクリティカルパス、電子カルテ、キット導入など各施設においても患者様のニーズに合った医療が提供され、さまざまな工夫がなされていることと思います。

そこで今回、現在実施されている看護の現状を発表して頂き各施設の長所や問題点ならびに課題、疑問など会場に参加されている皆様を含め数々の情報をもとにディスカッションし、現場での活用に生かすことができるよう活発な意見交換を行っていきたく思います。より質の高い看護の提供がめざせる場となるよう一緒に考えましょう。

12:15-13:25 ランチョンセミナー

「DES時代：コメディカルの果たす役割」

共催・ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

薬剤溶出ステント「CYPHERシロリムス溶出冠動脈ステント」は既に欧州での発売開始から4年が経過し、国内でも2年が経過しました。CYPHERステントの有効性は臨床治験だけではなく、既に各施設での日常臨床においても確認されつつあります。

本邦での臨床使用から2年が経過したCYPHERステントの国内データから、安全性/有効性の一層の向上のために、患者様に対するチーム医療の中における「薬剤溶出ステント（DES）時代におけるコメディカルの果たす役割」について、このセミナーを通して共有して頂ければ幸いです。

13:30-14:50

14:55-15:50

3号館

「基礎の確認1」 「基礎の確認2」

PCIにおけるデバイスや技術の進歩は目を見張るものがあります。我々コメディカルは、日々進歩する技術に追従するためには、基本を理解し、個々のレベルアップが必要であります。チーム医療において、個々がレベルアップすることで、より良質で安全な医療を提供することが可能となります。それで冠動脈の解剖、心電図、血行動態の把握、PCIにおける基礎的な講演をお願いしました。この機会に基本を再認識して頂ければと考えます。

15:55-16:50

「IABP」

大動脈内バルーンパンピング(Intra Aortic Balloon Pumping)は20世紀最大の補助循環の発明といわれ様々な疾患の役に立ってきた。現在細径化が進み、かつ様々なアイデアに伴い完成されてきた感がある。今回はIABPの基本からの見直しと制作者側からの意図、今後の発展等を再確認して頂きたい。

23日(土)

2号館

9:00-9:50

「頸動脈超音波とは」

頸動脈は動脈硬化の好発部位であり、頸動脈の壁厚と冠動脈病変とは相関があると報告されてます。頸動脈超音波検査は、全身の動脈硬化の程度をおおむね把握することができ日常よく行われている検査の一つであります。では実際にどのように頸動脈をみて検査しているのかコメディカルの方々に基礎知識として知って頂きレベル向上の一つになればと思い、わかりやすくご講演して頂きます。

9:50-10:45

「超音波による人工弁の診かた」

心臓外科手術により弁置換術が行われていますが、実際にコメディカルの方々は手術室に入り実際の人工弁、術式は見学されたことがある方もみえると思いますが、その後の人工弁についてはいかがでしょうか。再手術にならないかぎり、情報は入ってこないと思われれます。人工弁の機能評価に超音波が用いられていますが、実際、どのように人工弁を超音波でみて評価しているのか、どのようにになれば再手術になるのかなど、知っておきたい基礎知識向上のため、わかりやすくご講演して頂きます。

10:45-12:00

「心臓超音波検査の基礎」 「腎動脈の基礎から治療まで」

循環器検査において画像診断、特に超音波検査は欠かせない検査の一つで、心臓カテーテル検査においても様々な超音波検査が使用されております。このセッションでは心臓超音波検査、腎動脈超音波検査について講義を行います。心臓超音波検査は虚血性心疾患の診断に有用であり、カテ室においては冠動脈破裂等の診断、経過観察にも優れた検査です。

また、腎動脈超音波検査は非侵襲的に左右腎動脈の狭窄病変の診断、評価、そして治療、経過観察として重要な検査の一つであります。今回はこの検査において第一人者である超音波検査技士がわかりやすく、詳しく講義をいたします。

9:45-13:00

LIVE

「もっとわかりやすい 心臓血管外科ライブ」

今年のコメディカルライブでは、会場の皆さんにわかりやすく心臓血管外科のライブを見て頂くことにしました。「日頃から心臓血管外科手術に少し興味があるけれど、手術は実際どのように行われているのだろうか」と興味を持ち始めている内科系の看護師さんから、「いつも心臓血管外科の手術についているけど、他の施設と手術の内容はどこが違うのだろうか」と疑問を感じている手術室の看護師さんまで、心臓血管外科手術最前線の豊橋ハートセンターからの手術を見ながら心臓血管外科ドクターがわかりやすく解説いたします。もちろん、会場の皆様からの様々な質問も歓迎ですので皆さん奮ってご参加下さい。

13:10-14:20

「手術も心臓も解体します」

このセッションでは、ブタの心臓を用いて心臓の解剖とLiveでご覧頂いた手術の再現をいたします。手術を理解することは術後の観察やケアに大きく役立つはずですが、何気なく眺めていた手術も細かく解体しながら見直すことで術後の観察に役立つことが見つかるかもしれません。

術中・術直後におこる合併症についても解説いたします。また、心臓の解剖生理も行います。普段見ることのできない心臓の内側には何があるのかを解説します。

普段の手術ではわかりにくいところを解説し、随時会場からの質問にお答えしながら進めていきます。心臓手術について理解を深めて頂ければ幸いです。

14:30-16:00

「目から鱗？ ためになる麻酔医の術後管理」

昨年の教育講演「麻酔医の見た心臓手術後管理」、たいへんご好評を頂きました。しかしながら時間が不十分であり先生も私たちも不完全燃焼。

そこで今年は講演時間を拡充し、より「ためになる」セミナーを開催したいと考えました。日頃、心臓外科の先生の視点から経過を見ることの多い術後管理。麻酔科医の視点で見てみたらまた違う世界が見えてくるかもしれません。患者さんの術後管理に、きっと新たなヒントが得られることでしょう。

講師は昨年に引き続き大和成和病院麻酔科部長、池崎弘之先生です。先生は呼吸管理に非常に熱心に取り組んでおられ、心臓手術後は早期抜管、早期離床を提唱、実践しておられます。講演では「術後の呼吸管理」を中心とし、管理の秘訣をおはなし頂けるものと思います。

日頃皆さんが心血を注いでいる術後管理。さらにより良いものにするために、また「忙しいばかり」とため息する毎日を脱却するために、きっと「ためになる」ヒントがたくさん詰まったセミナーになると思います。是非ご参加下さい。

CCT2006 Pre-registration & Accommodation

●参加登録料

事前登録料 (8月31日まで)	
メディカル	25,000 円
コメディカル	6,000 円
企業関係者	25,000 円

当日登録料	
メディカル	30,000 円
コメディカル	10,000 円
企業関係者	30,000 円
研修医(1・2年目)	10,000 円
学生	無料

※研修医の方は、所属長による「1・2年目の研修中であることを明記した」証明書をお持ちください。
※学生の方は、学生証の提示が必須となります。
※研修医および学生、いずれの場合も、事前登録は不要です。

●お申込み方法

インターネットホームページからのお申込み

CCTホームページ

<http://www.cct.gr.jp/2006/>

よりお申込みいただけます。

ファックスでのお申込み

添付の「事前参加登録及び宿泊申込書」に必要事項をご記入の上、
CCT2006 Registration Deskまでファックスにてお送りください。

FAX.06-6232-0157

●事前登録締切日

事前参加登録及び宿泊申込みは**2006年8月31日**（日）までに上記方法でお済ませください。以降の参加登録は当日承ります。

●お支払い方法

お申込み受領後、8月15日以降弊社より請求書兼確認書を送付します。

内容を確認後、下記の方法でお支払いをお済ませください。お支払い終了後、予約完了となります。

尚、お支払いに関する手数料は参加者負担とさせていただきますので予めご了承ください。

- ◎コンビニエンスストア
- ◎クレジットカード
- ◎銀行振込

●お取消について

登録の取消について

お支払い頂いた登録料は返金できませんので予めご了承ください。

宿泊の取消について

下記の取消手数料・通信連絡費(525円)及び返金に関する手数料を差し引きの上、CCT2006終了後に返金させていただきます。

- ・キャンセルの連絡が宿泊日の9日前までの取消料 … 無し
- ・8日前から2日前までの取消料 … 1泊分の宿泊料金の20%
- ・前日以降及び無連絡による不泊の取消料 … 1泊分の宿泊料金の100%

● 宿泊予約

以下のホテルを参加者の方々の為に準備しております。申込み順の宿泊受付となりますので、以下の事項をご参照の上、お早めにお申込みくださいますようお願い申し上げます。尚、各ホテルの部屋数には限りがありますのでご希望に添えない場合もございます。予めご了承くださいませ。

ホテル	コード	ルームタイプ	宿泊料金	アクセス
ポートピアホテル	A-U	デラックスシングル	16,800円	ポートライナー市民広場駅より徒歩1分
	A-T	ツイン2名利用	21,000円	
ホテルパールシティ神戸	B-S	シングルルーム	11,025円	ポートライナー中埠頭駅より徒歩3分
	B-T	ツイン2名利用	18,900円	
クオリティホテル神戸	C-U	デラックスシングル	8,000円	ポートライナー市民広場駅より徒歩5分
	C-T	ツイン2名利用	19,000円	
ホテルオークラ神戸	D-S	シングルルーム	16,800円	JR元町駅より徒歩10分 三ノ宮駅よりシャトルバスあり
	D-T	ツイン2名利用	25,200円	
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	E-U	デラックスシングル	16,800円	JR元町駅より徒歩15分 三ノ宮駅よりシャトルバスあり
		ツインルームの設定はありません		
新神戸オリエンタルホテル	F-S	シングルルーム	11,550円	JR新神戸駅より徒歩0分
	F-T	ツイン2名利用	18,900円	
ニューオータニ神戸ハーバーランド	G-S	シングルルーム	11,025円	JR神戸駅より徒歩2分
	G-T	ツイン2名利用	16,800円	
神戸東急イン	H-S	シングルルーム	10,500円	JR三ノ宮駅より徒歩2分
	H-T	ツイン2名利用	18,900円	
三宮ターミナルホテル	J-S	シングルルーム	10,080円	JR三ノ宮駅より徒歩0分
	J-T	ツイン2名利用	19,740円	
ホテルモンテレ神戸	K-S	シングルルーム	9,975円	JR三ノ宮駅より徒歩5分
	K-T	ツイン2名利用	16,800円	
ホテルモンテレアマリー	L-S	シングルルーム	9,975円	JR三ノ宮駅より徒歩5分
	L-T	ツイン2名利用	16,800円	

※上記の宿泊料金は1泊・1室あたり、朝食付き・税金サービス料込の料金です。宿泊1件の申込みにつき通信連絡費525円を申し受けます

宿泊の取消に関しては、書面(FAX またはE-mail)にてCCT2006 Registration Deskまでご連絡ください。

● 交通について

関西空港→三ノ宮	リムジンバスにてJR三ノ宮駅へ(1,800円、約70分)
伊丹空港→三ノ宮	リムジンバスにてJR三ノ宮駅へ(1,020円、約40分)
神戸空港→神戸国際展示場	ポートライナー乗車にて市民広場駅下車すぐ(240円、約8分)
三ノ宮→神戸国際展示場	ポートライナー乗車にて市民広場駅下車すぐ(240円、約10分)
新神戸駅→神戸国際展示場	地下鉄にて三ノ宮へ(200円、約2分) ポートライナー乗車にて市民広場駅下車すぐ(240円、約10分)

● お問い合わせ先

CCT2006 Registration Desk [日本通運(株)大阪旅行支店内]

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-1-6

電話・06-6201-1962/FAX・06-6232-0157/E-mail・trv0083@nittsu.co.jp



CCT事務局

〒440-0851
愛知県豊橋市前田南町1-15-25
TEL ● 0532-57-1275
FAX ● 0532-52-2883
E-mail ● secretariat@cct.gr.jp